

問9-1 (疼痛緩和の普及) <職場別に frequency を算出>

あなたは世界保健機構 (WHO) が作成した「WHO 方式癌疼痛治療法」をご存知ですか。(○は1つ)

問9-1	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床 (緩和ケア病棟を除く)	療養病床 (介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
あることを知っている	126 30.14(%)	5 6.49(%)	153 29.37(%)	61 34.46(%)	21 28(%)	366
内容をある程度知っている	103 24.64(%)	6 7.79(%)	169 32.44(%)	59 33.33(%)	21 28(%)	358
内容をよく知っている	26 6.22(%)	66 85.71(%)	93 17.85(%)	14 7.91(%)	9 12(%)	208
知らない	163 39(%)	0 0(%)	106 20.35(%)	43 24.29(%)	24 32(%)	336
合計	418	77	521	177	75	1268

欠損値の度数 = 95

問9-2 (疼痛緩和の普及) <職場別に frequency を算出>

あなたは、モルヒネの使用にあたって、有効性と副作用について、患者にわかりやすく具体的に説明することができますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

問9-2	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床 (緩和ケア病棟を除く)	療養病床 (介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
説明できる	131 31.49(%)	76 97.44(%)	260 49.43(%)	60 33.52(%)	21 27.63(%)	548
多少は説明できる	224 53.85(%)	2 2.56(%)	231 43.92(%)	109 60.89(%)	38 50(%)	604
説明できない	38 9.13(%)	0 0(%)	25 4.75(%)	8 4.47(%)	11 14.47(%)	82
その他	4 0.96(%)	0 0(%)	0 0(%)	0 0(%)	1 1.32(%)	5
わからない	19 4.57(%)	0 0(%)	10 1.9(%)	2 1.12(%)	5 6.58(%)	36
合計	416	78	526	179	76	1275

欠損値の度数 = 88

### 問11 (持続的植物状態の患者への延命治療)

では、あなたの担当している患者が持続的植物状態で治る見込みがない場合、単なる延命医療についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

問11	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床 (緩和ケア病棟を除く)	療養病床 (介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
単なる延命医療であっても続けられるべきである	58 14.08(%)	5 6.41(%)	77 14.89(%)	27 15.17(%)	11 14.86(%)	178
単なる延命医療はやめたほうがよい	235 57.04(%)	55 70.51(%)	302 58.41(%)	109 61.24(%)	49 66.22(%)	750
単なる延命医療はやめるべきである	81 19.66(%)	11 14.1(%)	93 17.99(%)	24 13.48(%)	11 14.86(%)	220
わからない	38 9.22(%)	7 8.97(%)	45 8.7(%)	18 10.11(%)	3 4.05(%)	111
合計	412	78	517	178	74	1259

欠損値の度数 = 104

### 問11 補問1 (延命医療の中止の判断)

(問11で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。

(○は1つ)

問11 補問1	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床 (緩和ケア病棟を除く)	療養病床 (介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
意識不明の状態から回復しないと診断されたとき	83 26.27(%)	11 16.92(%)	91 23.16(%)	33 24.81(%)	7 11.67(%)	225
生命の助かる見込みがないと診断されたとき	82 25.95(%)	17 26.15(%)	95 24.17(%)	26 19.55(%)	14 23.33(%)	234
生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき	143 45.25(%)	37 56.92(%)	198 50.38(%)	70 52.63(%)	37 61.67(%)	485
わからない	8 2.53(%)	0 0(%)	9 2.29(%)	4 3.01(%)	2 3.33(%)	23
合計	316	65	393	133	60	967

欠損値の度数 = 396

**問11 補問2 (延命医療の実質的定義)**

(問11で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。  
(○は1つ)

問11 補問2	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床 (緩和ケア病棟を除く)	療養病床 (介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療は中止してよいが、それ以外の治療(床ずれの手当や点滴等)は続ける	213 72.7(%)	47 73.44(%)	300 79.16(%)	98 81.67(%)	46 76.67(%)	704
一切の治療は中止してよい	56 19.11(%)	8 12.5(%)	36 9.5(%)	12 10(%)	8 13.33(%)	120
その他	9 3.07(%)	7 10.94(%)	18 4.75(%)	7 5.83(%)	3 5(%)	44
わからない	15 5.12(%)	2 3.13(%)	25 6.6(%)	3 2.5(%)	3 5(%)	48
合計	293	64	379	120	60	916

欠損値の度数 = 447

**問11 補問3 (延命医療 basic care の意識) <職場別に frequency を算出>**

(問11で1をお選びの方に) 続ける必要があるとお考えになる医療はどれですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(○はいくつでも)

**問11 補問3 選択肢①**

問11 補問3 選択肢① 経管栄養 (異ろうを含む)	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床 (緩和ケア病棟を除く)	療養病床 (介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
×	107 50.95(%)	34 72.34(%)	123 41.28(%)	40 41.24(%)	18 40.91(%)	322
○	103 49.05(%)	13 27.66(%)	175 58.72(%)	57 58.76(%)	26 59.09(%)	374
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢2

問11 補問3 選択肢② 点滴（維持輸血）	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	65 30.95(%)	22 46.81(%)	62 20.81(%)	22 22.68(%)	8 18.18(%)	179
○	145 69.05(%)	25 53.19(%)	236 79.19(%)	75 77.32(%)	36 81.82(%)	517
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢3

問11 補問3 選択肢③ 中心静脈経路の高カロリー輸血	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	167 79.52(%)	43 91.49(%)	211 70.81(%)	77 79.38(%)	29 65.91(%)	527
○	43 20.48(%)	4 8.51(%)	87 29.19(%)	20 20.62(%)	15 34.09(%)	169
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢4

問11 補問3 選択肢④ 自動血圧計による血圧監視	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	137 65.24(%)	45 95.74(%)	197 66.11(%)	63 64.95(%)	20 45.45(%)	462
○	73 34.76(%)	2 4.26(%)	101 33.89(%)	34 35.05(%)	24 54.55(%)	234
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢5

問11 補問3 選択肢⑤ 心電図モニター	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	120 57.14(%)	45 95.74(%)	145 48.66(%)	41 42.27(%)	15 34.09(%)	366
○	90 42.86(%)	2 4.26(%)	153 51.34(%)	56 57.73(%)	29 65.91(%)	330
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢6

問11 補問3 選択肢⑥ 気管切開	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	185 88.1(%)	46 97.87(%)	277 92.95(%)	87 89.69(%)	38 86.36(%)	633
○	25 11.9(%)	1 2.13(%)	21 7.05(%)	10 10.31(%)	6 13.64(%)	63
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢7

問11 補問3 選択肢⑦ 心臓マッサージ	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	201 95.71(%)	46 97.87(%)	295 98.99(%)	89 91.75(%)	42 95.45(%)	673
○	9 4.29(%)	1 2.13(%)	3 1.01(%)	8 8.25(%)	2 4.55(%)	23
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢8

問11 補問3 選択肢⑧ 昇圧剤の投与	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	192 91.43(%)	46 97.87(%)	273 91.61(%)	86 88.66(%)	32 72.73(%)	629
○	18 8.57(%)	1 2.13(%)	25 8.39(%)	11 11.34(%)	12 27.27(%)	67
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢9

問11 補問3 選択肢⑨ 床ずれの手当て	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	37 17.62(%)	3 6.38(%)	45 15.1(%)	13 13.4(%)	4 9.09(%)	102
○	173 82.38(%)	44 93.62(%)	253 84.9(%)	84 86.6(%)	40 90.91(%)	594
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢10

問11 補問3 選択肢⑩ 抗生物質の投与	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	155 73.81(%)	34 72.34(%)	183 61.41(%)	60 61.86(%)	24 54.55(%)	456
○	55 26.19(%)	13 27.66(%)	115 38.59(%)	37 38.14(%)	20 45.45(%)	240
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢11

問11 補問3 選択肢⑪ 輸血	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	201 95.71(%)	45 95.74(%)	275 92.28(%)	88 90.72(%)	43 97.73(%)	652
○	9 4.29(%)	2 4.26(%)	23 7.72(%)	9 9.28(%)	1 2.27(%)	44
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢12

問11 補問3 選択肢⑫ 全身清拭	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	42 20(%)	3 6.38(%)	36 12.08(%)	20 20.62(%)	5 11.36(%)	106
○	168 80(%)	44 93.62(%)	262 87.92(%)	77 79.38(%)	39 88.64(%)	590
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢13

問11 補問3 選択肢⑬ 喀痰吸引	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	32 15.24(%)	6 12.77(%)	40 13.42(%)	8 8.25(%)	1 2.27(%)	87
○	178 84.76(%)	41 87.23(%)	258 86.58(%)	89 91.75(%)	43 97.73(%)	609
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢 14

問11 補問3 選択肢⑭ 留置カテーテル導入	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	60 28.57(%)	19 40.43(%)	78 26.17(%)	34 35.05(%)	8 18.18(%)	199
○	150 71.43(%)	28 59.57(%)	220 73.83(%)	63 64.95(%)	36 81.82(%)	497
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢 15

問11 補問3 選択肢⑮ 眼の乾燥防止	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	71 33.81(%)	4 8.51(%)	69 23.15(%)	28 28.87(%)	7 15.91(%)	179
○	139 66.19(%)	43 91.49(%)	229 76.85(%)	69 71.13(%)	37 84.09(%)	517
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問11 補問3 選択肢 16

問11 補問3 選択肢⑯ 酸素吸入	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	91 43.33(%)	14 29.79(%)	94 31.54(%)	33 34.02(%)	15 34.09(%)	247
○	119 56.67(%)	33 70.21(%)	204 68.46(%)	64 65.98(%)	29 65.91(%)	449
合計	210	47	298	97	44	696

欠損値の度数 = 667

問14-1 (リビングウィル、事前指示について)

「治る見込みがなく、死期が近いときには単なる延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、がんの末期などで実際にそのような症状になり、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」(リビングウィル)という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

問14-1	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床 (緩和ケア病棟を除く)	療養病床 (介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
賛成する	290 70.73(%)	73 94.81(%)	425 81.26(%)	135 75.84(%)	63 84(%)	986
患者の意思の尊重という考え方には賛成するが、書面にま	66 16.1(%)	4 5.19(%)	55 10.52(%)	23 12.92(%)	8 10.67(%)	156
賛成できない	17 4.15(%)	0 0(%)	12 2.29(%)	4 2.25(%)	1 1.33(%)	34
その他	9 2.2(%)	0 0(%)	14 2.68(%)	7 3.93(%)	1 1.33(%)	31
わからない	28 6.83(%)	0 0(%)	17 3.25(%)	9 5.06(%)	2 2.67(%)	56
合計	410	77	523	178	75	1263

欠損値の度数 = 100

問14-1 補問1 (リビングウィル、事前指示について)

(問14-1で1をお選びの方に) 書面による本人の意思表示という方法について、わが国ではどのように扱われるのかが適切だとお考えですか。(○は1つ)

問14-1 補問1	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床 (緩和ケア病棟を除く)	療養病床 (介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
そのような書面が有効であるという法律を制定すべきである	139 48.1(%)	29 40.28(%)	212 49.88(%)	63 47.37(%)	34 53.97(%)	477
法律を制定しなくても、医師が家族と相談の上その希望を尊重して治療方針を決定する	146 50.52(%)	42 58.33(%)	209 49.18(%)	69 51.88(%)	27 42.86(%)	493
その他	2 0.69(%)	0 0(%)	3 0.71(%)	0 0(%)	1 1.59(%)	6
わからない	2 0.69(%)	1 1.39(%)	1 0.24(%)	1 0.75(%)	1 1.59(%)	6
合計	289	72	425	133	63	982

欠損値の度数 = 381



問14-3 (代理人による意思表示)

事前に本人の意思の確認ができなかった患者の場合、「家族や後見人が延命医療を拒否したら、それを本人の意思の代わりとして治療方針などを決定すればよい」(代理人による意思表示)という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

問14-3	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床(緩和ケア病棟を除く)	療養病床(介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
それでよいと思う	110 27.09(%)	27 35.06(%)	137 26.35(%)	54 30.51(%)	23 31.08(%)	351
そうせざるを得ないと思う	161 39.66(%)	28 36.36(%)	226 43.46(%)	70 39.55(%)	26 35.14(%)	511
そうは思わない	21 5.17(%)	4 5.19(%)	25 4.81(%)	5 2.82(%)	5 6.76(%)	60
その時の状況による	98 24.14(%)	18 23.38(%)	123 23.65(%)	41 23.16(%)	16 21.62(%)	296
その他	3 0.74(%)	0 0(%)	1 0.19(%)	1 0.56(%)	0 0(%)	5
わからない	13 3.2(%)	0 0(%)	8 1.54(%)	6 3.39(%)	4 5.41(%)	31
合計	406	77	520	177	74	1254

欠損値の度数 = 109

問14-3 補問4 (代理人による意思表示)

(問14-3で3以外をお選びの方に) 代理による意思表示のとき、代理として意思表示する人は誰が適当だと思いますか。(○は1つ)

問14-3 補問4	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床(緩和ケア病棟を除く)	療養病床(介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
配偶者	289 77.48(%)	50 72.46(%)	360 74.07(%)	121 71.18(%)	45 65.22(%)	865
兄弟姉妹	0 0(%)	0 0(%)	1 0.21(%)	1 0.59(%)	1 1.45(%)	3
子供	24 6.43(%)	1 1.45(%)	41 8.44(%)	13 7.65(%)	4 5.8(%)	83
親	7 1.88(%)	1 1.45(%)	11 2.26(%)	3 1.76(%)	6 8.7(%)	28
後見人	7 1.88(%)	2 2.9(%)	15 3.09(%)	11 6.47(%)	3 4.35(%)	38
主治医	4 1.07(%)	0 0(%)	1 0.21(%)	3 1.76(%)	0 0(%)	8
主治医以外の医師(かかりつけ医等)	1 0.27(%)	1 1.45(%)	1 0.21(%)	0 0(%)	0 0(%)	3
福祉事務所など公的機関に所属する人	0 0(%)	0 0(%)	2 0.41(%)	1 0.59(%)	0 0(%)	3
その他	14 3.75(%)	8 11.59(%)	28 5.76(%)	6 3.53(%)	4 5.8(%)	60
わからない	27 7.24(%)	6 8.7(%)	26 5.35(%)	11 6.47(%)	6 8.7(%)	76
合計	373	69	486	170	69	1167

欠損値の度数 = 196

問14-3 補問5 (代理人による意思表示)

(問14-1で2又は3をお選びの方に) 家族の中で意見がまとまらない場合、意思表示の書面がない場合、延命医療の中止の判断はどのようになさいますか。(○は1つ)

問14-3 補問5	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床(緩和ケア病棟を除く)	療養病床(介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
家族や親戚など多数の意見に従ってほしい	9 12.33(%)	0 0(%)	2 3.77(%)	3 12.5(%)	1 12.5(%)	15
配偶者など最も身近な人の意見に従ってほしい	38 52.05(%)	3 75(%)	27 50.94(%)	11 45.83(%)	2 25(%)	81
担当する医師の考えで決めてほしい	5 6.85(%)	0 0(%)	3 5.66(%)	4 16.67(%)	1 12.5(%)	13
全員一致しなければ、延命医療が継続されてもやむを得ない	15 20.55(%)	1 25(%)	21 39.62(%)	6 25(%)	4 50(%)	47
わからない	6 8.22(%)	0 0(%)	0 0(%)	0 0(%)	0 0(%)	6
合計	73	4	53	24	8	162

欠損値の度数 = 1201

問15 (延命医療へのインフォームドコンセント)

単なる延命医療を続けるべきか中止すべきかという問題について、医師と患者の間で十分な話し合いが行われていると思いますか。(○は1つ)

問15	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床(緩和ケア病棟を除く)	療養病床(介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
行われていると思う	44 10.73(%)	12 16(%)	76 14.62(%)	18 10.34(%)	8 10.67(%)	158
不十分と思う	135 32.93(%)	31 41.33(%)	181 34.81(%)	56 32.18(%)	21 28(%)	424
行われているとは思わない	108 26.34(%)	13 17.33(%)	104 20(%)	47 27.01(%)	21 28(%)	293
その時の状況による	87 21.22(%)	17 22.67(%)	139 26.73(%)	49 28.16(%)	17 22.67(%)	309
その他	4 0.98(%)	0 0(%)	5 0.96(%)	1 0.57(%)	2 2.67(%)	12
わからない	32 7.8(%)	2 2.67(%)	15 2.88(%)	3 1.72(%)	6 8(%)	58
合計	410	75	520	174	75	1254

欠損値の度数 = 109

問 16 (医療従事者間での意見の相違)

終末期医療において、治療方針について医師や看護・介護職員の間意見の相違が起こったことがありますか。(〇は1つ)

問16	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床(緩和ケア病棟を除く)	療養病床(介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
ある	94 23.44(%)	63 82.89(%)	242 46.27(%)	64 35.36(%)	25 33.33(%)	488
ない	307 76.56(%)	13 17.11(%)	281 53.73(%)	117 64.64(%)	50 66.67(%)	768
合計	401	76	523	181	75	1256

欠損値の度数 = 107

問 16 補問 (医療従事者間での意見の相違)

(問 16 で 1 をお選びの方に) その場合、意見の調整を多くの場合どのように図ってきましたか。(〇はいくつでも)

問 16 補問 選択肢 1

問16 補問 選択肢① 主治医の意見にもとづく	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床(緩和ケア病棟を除く)	療養病床(介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
×	76 81.72(%)	58 92.06(%)	203 83.88(%)	56 87.5(%)	23 92(%)	416
○	17 18.28(%)	5 7.94(%)	39 16.12(%)	8 12.5(%)	2 8(%)	71
合計	93	63	242	64	25	487

欠損値の度数 = 876

問 16 補問 選択肢 2

問16 補問 選択肢② 患者を担当している看護・介護職員の意見にもとづく	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床(緩和ケア病棟を除く)	療養病床(介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
×	92 98.92(%)	61 96.83(%)	238 98.35(%)	64 100(%)	25 100(%)	480
○	1 1.08(%)	2 3.17(%)	4 1.65(%)	0 0(%)	0 0(%)	7
合計	93	63	242	64	25	487

欠損値の度数 = 876

問16 補問 選択肢 3

問16 補問 選択肢③ 主治医と患者を担当している 看護・介護職員の見解にもと づく	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション 含む）	
×	72 77.42(%)	41 65.08(%)	180 74.38(%)	45 70.31(%)	14 56(%)	352
○	21 22.58(%)	22 34.92(%)	62 25.62(%)	19 29.69(%)	11 44(%)	135
合計	93	63	242	64	25	487

欠損値の度数 = 876

問16 補問 選択肢 4

問16 補問 選択肢④ 患者本人または家族の見解に もとづく	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション 含む）	
×	25 26.88(%)	12 19.05(%)	63 26.03(%)	15 23.44(%)	8 32(%)	123
○	68 73.12(%)	51 80.95(%)	179 73.97(%)	49 76.56(%)	17 68(%)	364
合計	93	63	242	64	25	487

欠損値の度数 = 876

問16 補問 選択肢 5

問16 補問 選択肢⑤ その他(具体的に)	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション 含む）	
×	89 95.7(%)	57 90.48(%)	227 93.8(%)	61 95.31(%)	24 96(%)	458
○	4 4.3(%)	6 9.52(%)	15 6.2(%)	3 4.69(%)	1 4(%)	29
合計	93	63	242	64	25	487

欠損値の度数 = 876

問16 補問 選択肢 6

問16 補問 選択肢⑥ わからない	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション 含む）	
×	93 100(%)	63 100(%)	240 99.17(%)	63 98.44(%)	25 100(%)	484
○	0 0(%)	0 0(%)	2 0.83(%)	1 1.56(%)	0 0(%)	3
合計	93	63	242	64	25	487

欠損値の度数 = 876

問17 (終末期医療の重点課題) <職場別に frequency を算出>

あなたは、終末期医療において、どのようなことを今後重点的に行うべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

問17 選択肢1

問17 選択肢① 痛みなどの症状の緩和方法の 徹底と普及	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床 (緩 和ケア病棟を 除く)	療養病床 (介 護療養型医療 施設を含む)	その他(訪問看 護ステーション含む)	
×	59 14.01(%)	6 7.79(%)	71 13.42(%)	22 12.02(%)	9 11.54(%)	167
〇	362 85.99(%)	71 92.21(%)	458 86.58(%)	161 87.98(%)	69 88.46(%)	1121
合計	421	77	529	183	78	1288

欠損値の度数 = 75

問17 選択肢2

問17 選択肢② 患者や家族に関する専門的な 精神科医やカウンセラーの関 与	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床 (緩 和ケア病棟を 除く)	療養病床 (介 護療養型医療 施設を含む)	その他(訪問看 護ステーション含む)	
×	237 56.29(%)	23 29.87(%)	229 43.29(%)	99 54.1(%)	35 44.87(%)	623
〇	184 43.71(%)	54 70.13(%)	300 56.71(%)	84 45.9(%)	43 55.13(%)	665
合計	421	77	529	183	78	1288

欠損値の度数 = 75

問17 選択肢3

問17 選択肢③ 治療、ケアの方針に関する看 護師と患者・家族との十分な 話し合い	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床 (緩 和ケア病棟を 除く)	療養病床 (介 護療養型医療 施設を含む)	その他(訪問看 護ステーション含む)	
×	113 26.84(%)	4 5.19(%)	114 21.55(%)	44 24.04(%)	11 14.1(%)	286
〇	308 73.16(%)	73 94.81(%)	415 78.45(%)	139 75.96(%)	67 85.9(%)	1002
合計	421	77	529	183	78	1288

欠損値の度数 = 75

### 問17 選択肢4

問17 選択肢④ 患者の死後、残された遺族に 対する援助サービス	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション含む）	
×	353 83.85(%)	15 19.48(%)	418 79.02(%)	154 84.15(%)	59 75.64(%)	999
○	68 16.15(%)	62 80.52(%)	111 20.98(%)	29 15.85(%)	19 24.36(%)	289
合計	421	77	529	183	78	1288

欠損値の度数 = 75

### 問17 選択肢5

問17 選択肢⑤ 患者や家族の看護に関して専 門的な知識技術をもった看護 師の関与	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション含む）	
×	296 70.31(%)	17 22.08(%)	340 64.27(%)	135 73.77(%)	55 70.51(%)	843
○	125 29.69(%)	60 77.92(%)	189 35.73(%)	48 26.23(%)	23 29.49(%)	445
合計	421	77	529	183	78	1288

欠損値の度数 = 75

### 問17 選択肢6

問17 選択肢⑥ 終末期医療におけるチーム医 療の充実	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション含む）	
×	224 53.21(%)	11 14.29(%)	227 42.91(%)	78 42.62(%)	34 43.59(%)	574
○	197 46.79(%)	66 85.71(%)	302 57.09(%)	105 57.38(%)	44 56.41(%)	714
合計	421	77	529	183	78	1288

欠損値の度数 = 75

### 問17 選択肢7

問17 選択肢⑦ その他（具体的に）	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション含む）	
×	406 96.44(%)	62 80.52(%)	510 96.41(%)	177 96.72(%)	73 93.59(%)	1228
○	15 3.56(%)	15 19.48(%)	19 3.59(%)	6 3.28(%)	5 6.41(%)	60
合計	421	77	529	183	78	1288

欠損値の度数 = 75

問17 選択肢 8

問17 選択肢⑧ 特になし	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	415 98.57(%)	77 100(%)	527 99.62(%)	181 98.91(%)	78 100(%)	1278
○	6 1.43(%)	0 0(%)	2 0.38(%)	2 1.09(%)	0 0(%)	10
合計	421	77	529	183	78	1288

欠損値の度数 = 75

問18（終末期医療普及への具体的活動内容）＜職場別に frequency を算出＞

あなたは、終末期医療の普及に関し、どのようなことを充実していくべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。（○はいくつでも）

問18 選択肢 1

問18 選択肢① 終末期医療に従事する医療従事者数の確保	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	187 44.42(%)	13 16.67(%)	257 48.49(%)	95 51.91(%)	40 51.95(%)	592
○	234 55.58(%)	65 83.33(%)	273 51.51(%)	88 48.09(%)	37 48.05(%)	697
合計	421	78	530	183	77	1289

欠損値の度数 = 74

問18 選択肢 2

問18 選択肢② 医師・看護師等医療従事者や、介護施設職員に対する、卒前・卒後教育や生涯研修の充実	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	221 52.49(%)	12 15.38(%)	235 44.34(%)	74 40.44(%)	26 33.77(%)	568
○	200 47.51(%)	66 84.62(%)	295 55.66(%)	109 59.56(%)	51 66.23(%)	721
合計	421	78	530	183	77	1289

欠損値の度数 = 74



問18 選択肢3

問18 選択肢③ 研究活動の推進	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	367 87.17(%)	34 43.59(%)	458 86.42(%)	163 89.07(%)	66 85.71(%)	1088
○	54 12.83(%)	44 56.41(%)	72 13.58(%)	20 10.93(%)	11 14.29(%)	201
合計	421	78	530	183	77	1289

欠損値の度数 = 74

問18 選択肢4

問18 選択肢④ 患者、家族への相談体制の充実	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	183 43.47(%)	8 10.26(%)	196 36.98(%)	78 42.62(%)	27 35.06(%)	492
○	238 56.53(%)	70 89.74(%)	334 63.02(%)	105 57.38(%)	50 64.94(%)	797
合計	421	78	530	183	77	1289

欠損値の度数 = 74

問18 選択肢5

問18 選択肢⑤ 在宅医療で十分な終末期医療が行えるような体制づくり	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	170 40.38(%)	7 8.97(%)	159 30(%)	86 46.99(%)	23 29.87(%)	445
○	251 59.62(%)	71 91.03(%)	371 70(%)	97 53.01(%)	54 70.13(%)	844
合計	421	78	530	183	77	1289

欠損値の度数 = 74

問18 選択肢6

問18 選択肢⑥ 緩和ケア病棟の設置と拡充	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	220 52.26(%)	25 32.05(%)	283 53.4(%)	100 54.64(%)	33 42.86(%)	661
○	201 47.74(%)	53 67.95(%)	247 46.6(%)	83 45.36(%)	44 57.14(%)	628
合計	421	78	530	183	77	1289

欠損値の度数 = 74

問18 選択肢7

問18 選択肢⑦ 一般病棟において十分な終末期医療が行えるような体制づくり	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	311 73.87(%)	27 34.62(%)	324 61.13(%)	131 71.58(%)	53 68.83(%)	846
○	110 26.13(%)	51 65.38(%)	206 38.87(%)	52 28.42(%)	24 31.17(%)	443
合計	421	78	530	183	77	1289

欠損値の度数 = 74

問18 選択肢8

問18 選択肢⑧ 一般市民に対する教育活動	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	312 74.11(%)	20 25.64(%)	335 63.21(%)	123 67.21(%)	55 71.43(%)	845
○	109 25.89(%)	58 74.36(%)	195 36.79(%)	60 32.79(%)	22 28.57(%)	444
合計	421	78	530	183	77	1289

欠損値の度数 = 74

問18 選択肢9

問18 選択肢⑨ 意思表示の事前文書などの法的整備	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	269 63.9(%)	43 55.13(%)	316 59.62(%)	107 58.47(%)	44 57.14(%)	779
○	152 36.1(%)	35 44.87(%)	214 40.38(%)	76 41.53(%)	33 42.86(%)	510
合計	421	78	530	183	77	1289

欠損値の度数 = 74

問18 選択肢10

問18 選択肢⑩ 終末期医療への経済的評価	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩和ケア病棟を除く）	療養病床（介護療養型医療施設を含む）	その他（訪問看護ステーション含む）	
×	281 66.75(%)	23 29.49(%)	301 56.79(%)	114 62.3(%)	49 63.64(%)	768
○	140 33.25(%)	55 70.51(%)	229 43.21(%)	69 37.7(%)	28 36.36(%)	521
合計	421	78	530	183	77	1289

欠損値の度数 = 74

**問19 (終末期医療の現状)**

あなたは終末期医療に対して、悩みや疑問を感じた経験がありますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

問19	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床(緩和ケア病棟を除く)	療養病床(介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
頻繁に感じる	108 26.8(%)	43 57.33(%)	183 34.92(%)	59 32.6(%)	17 22.97(%)	410
たまに感じる	236 58.56(%)	29 38.67(%)	320 61.07(%)	111 61.33(%)	48 64.86(%)	744
感じたことはない	59 14.64(%)	3 4(%)	21 4.01(%)	11 6.08(%)	9 12.16(%)	103
合計	403	75	524	181	74	1257

欠損値の度数 = 106

**問19 補問 (終末期医療での困難な状況) <職場別に frequency を算出>**

(問19で1か2をお選びの方へ) 痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短期間を想定)患者の診療にあなた自身が携わって、どんな難しさを感じていますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(○はいくつでも)

**問19 補問 選択肢1**

問19 選択肢① 患者へ病名、症状の説明をすること	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床(緩和ケア病棟を除く)	療養病床(介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
×	135 39.71(%)	44 61.97(%)	171 34.06(%)	74 44.05(%)	32 50.79(%)	456
○	205 60.29(%)	27 38.03(%)	331 65.94(%)	94 55.95(%)	31 49.21(%)	688
合計	340	71	502	168	63	1144

欠損値の度数 = 219

**問19 補問 選択肢2**

問19 選択肢② 痛みをはじめとした症状を緩和すること	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床(緩和ケア病棟を除く)	療養病床(介護療養型医療施設を含む)	その他(訪問看護ステーション含む)	
×	178 52.35(%)	31 43.66(%)	306 60.96(%)	97 57.74(%)	41 65.08(%)	653
○	162 47.65(%)	40 56.34(%)	196 39.04(%)	71 42.26(%)	22 34.92(%)	491
合計	340	71	502	168	63	1144

欠損値の度数 = 219

### 問 19 補問 選択肢 3

問19 選択肢③ 患者や家族と話し合う時間を 持つこと	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション 含む）	
×	219 64.41(%)	50 70.42(%)	317 63.15(%)	116 69.05(%)	42 66.67(%)	744
○	121 35.59(%)	21 29.58(%)	185 36.85(%)	52 30.95(%)	21 33.33(%)	400
合計	340	71	502	168	63	1144

欠損値の度数 = 219

### 問 19 補問 選択肢 4

問19 選択肢④ 患者や家族のための病院（施 設）内の設備や終末期医療施 設が乏しいこと	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション 含む）	
×	199 58.53(%)	51 71.83(%)	232 46.22(%)	84 50(%)	30 47.62(%)	596
○	141 41.47(%)	20 28.17(%)	270 53.78(%)	84 50(%)	33 52.38(%)	548
合計	340	71	502	168	63	1144

欠損値の度数 = 219

### 問 19 補問 選択肢 5

問19 選択肢⑤ 在宅医療を実施したくても、 体制が十分でないこと	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション 含む）	
×	161 47.35(%)	29 40.85(%)	209 41.63(%)	92 54.76(%)	31 49.21(%)	522
○	179 52.65(%)	42 59.15(%)	293 58.37(%)	76 45.24(%)	32 50.79(%)	622
合計	340	71	502	168	63	1144

欠損値の度数 = 219

### 問 19 補問 選択肢 6

問19 選択肢⑥ 延命のための医療を中止する こと	職場					合計
	診療所	緩和ケア病棟	一般病床（緩 和ケア病棟を 除く）	療養病床（介 護療養型医療 施設を含む）	その他（訪問看 護ステーション 含む）	
×	258 75.88(%)	59 83.1(%)	367 73.11(%)	108 64.29(%)	47 74.6(%)	839
○	82 24.12(%)	12 16.9(%)	135 26.89(%)	60 35.71(%)	16 25.4(%)	305
合計	340	71	502	168	63	1144

欠損値の度数 = 219